

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81100 消防本部運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	8	消防費	ポイント												
	項	1	消防費	政策分野		3	都市基盤・防災・景観	市長公約			強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します					
	目	1	常備消防費	施策分野		(7)	消防・救急									
担当課	消防本部	消防総務課・指令課・救急課	内線	2119												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		154,302	151,937	155,786			
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	909	1,284	1,143			
	その他(消防手数料、白川村受託事業収入 等)	12,135	12,343	10,771			
一般財源		141,258	138,310	143,872			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防本部の管理運営	96,762	94,397	98,246			
	消防指令システムの運用	57,540	57,540	57,540			
○ 1	マイナ保険証を活用した救急業務						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		108,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
103,867	101,337	101,337	△ 54,449	
990	322	322	△ 821	
5,955	5,699	5,699	△ 5,072	
96,922	95,316	95,316	△ 48,556	
査定額	説明			
100,809				
528				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 火災出動 40件、救急出動 4,894件、救助出動 54件(令和6年1月～令和6年12月中) 消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 26件 Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者31名、通報実績0件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 Net119緊急通報システム運用により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営に必要な経費を計上 高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	81100 消防本部運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input checked="" type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防本部 救急課
枝番・内容	1 マイナ保険証を活用した救急業務		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input type="checkbox"/> R8拡充		款	8	消防費		内線
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	消防費	作成年月	R8.2
			<input type="checkbox"/>			目	1	常備消防費		

事業の目的・概要(Plan)

目的	・マイナ保険証を活用した救急業務の運用を開始し傷病者の負担軽減と医療機関選定の時間短縮などを図る。	概要	・総務省消防庁が推奨するマイナ保険証を活用した救急業務(マイナ救急)が、全国の実証事業を経て令和8年度から各自治体で本格的に運用が開始する。 ・市においても運用を開始し傷病者の負担軽減と医療機関選定の時間短縮などを図るもの。
----	---	----	---

[参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	528
主な経費	・通信運搬費	
	・保険料	
	・負担金	
対前年度増減額(当初予算)		528

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナ保険証を活用した救急業務を実施 ①マイナ救急の流れ ・救急現場にてマイナ保険証の提示と本人の同意があれば、専用のカードリーダーで傷病者情報を読み込み、既往歴などの情報から速やかな医療機関選定、治療へとつなげる ②マイナ救急で得られる効果 ・正確な医療情報を瞬時に得られる ・会話が困難な傷病者にも対応できる ・不要な質問を避け、現場出発までの時間が短縮できる <p>(事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 416千円 ・保険料 22千円 ・負担金 90千円
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・R7.10~R8.3 実証実験の実施 ・R8.4~ 本格運用開始

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81110 消防署運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
	款	8	消防費		ポイント								
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します		
	目	1	常備消防費		施策分野	(7)	消防・救急						
担当課	消防本部	消防総務課	内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		36,730	34,953	41,060			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入、消防施設等使用料)	2,596	2,715	2,586			
一般財源		34,134	32,238	38,474			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防庁舎の管理運営	36,730	34,953	41,060			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		41,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,536	39,620	39,620	△ 1,440	
2,999	2,966	2,966	380	
36,537	36,654	36,654	△ 1,820	
査定額	説明			
39,620				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(誘導灯修繕(高山)、空調修繕(高山)、オーバースライダー修繕(高山)、トイレ修繕(白川)、乾燥室修繕(清見)、ホースタワーワイヤー修繕(白川)、給湯暖房管修繕(上宝)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81120 予防事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費		ポイント									
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します			
	目	1	常備消防費		施策分野	(7)	消防・救急							
担当課	消防本部 予防課	内線	2118											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
T「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,083	1,024	1,164			
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	1,083	1,024	1,164			
	その他()						
一般財源			0	0			
新規・拡充	主な事業内容						
	火災予防のための啓発	1,083	1,024	1,164			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		1,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,343	1,350	1,350	186	
1,160	1,350	1,350	186	
183	0	0	0	
査定額	説明			
1,350				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画に基づき立入検査・違反是正を行った。(計画865件、実施844件 重大違反31件中1件は正) ・防火管理講習を企画運営し、甲種防火管理新規講習ではオンライン講習を1回開催した。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講102名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講8名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間を主体として住宅用火災警報器の維持管理、感震ブレーカーの普及を促す火災予防啓発等を行った。(住宅用火災警報器設置率:96.5%) ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修を実施した。(参加者67名)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査を実施し計画数より若干少なかった。重大違反の是正指導を推進した。 ・防火管理講習はオンラインを含め適切に実施できたが、受講枠を拡大する余地がある。 ・火災予防啓発は、住宅用火災警報器の維持管理及び感震ブレーカーの普及を積極的に行うことができた。 ・少年消防クラブリーダー研修は多くの参加があり、参加者の満足度も高かった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査を継続的に実施し、違反是正を推進する。 ・火災予防啓発は、住宅用火災警報器の維持管理とともに感震ブレーカーの普及について重点的に取り組む。 ・複雑多様化する火災原因調査を行うため、鑑識資器材を整備充実し、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・少年消防クラブ事業は内容の検討、募集の拡大により更なる活性化を目指す。

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課	・火災予防啓発に必要な経費を計上
予算要求	・少年消防クラブの活動促進を図るために必要な経費を計上
ポイント	・甲種防火管理者講習のオンライン実施に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81130 警防事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費		ポイント									
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します			
	目	1	常備消防費		施策分野	(7)	消防・救急							
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
T「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		18,180	17,646	18,050			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(白川村受託事業収入)	1,890	1,979	1,420			
一般財源		16,290	15,667	16,630			
新規・拡充	主な事業内容						
	車両・資器材の維持管理	18,180	17,646	18,050			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		18,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,375	20,210	20,210	2,160	
1,916	1,730	1,730	310	
19,459	18,480	18,480	1,850	
査定額	説明			
20,210				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動に確実に対応できるよう図った。 岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練へ参加し、消防広域応援体制の強化を図った。 緊急消防援助隊岐阜県大隊として、奥能登豪雨に計9名(第1陣～第3陣)を派遣した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急車両及び災害対応資器材を適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	消防車両、救急車両及び資器材の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81140 救急事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費		ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり								
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観								
	目	1	常備消防費		施策分野	(7)	消防・救急								
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117					分界別			市長公約		強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,141	8,570	10,543			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	5,162	5,321	5,258			
一般財源		3,979	3,249	5,285			
新規・拡充	主な事業内容						
	救急救命士の養成	1,240	897	1,290			
	資器材の維持管理	7,901	7,673	9,253			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		10,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
11,146	11,153	11,153	610	
5,479	5,434	5,434	176	
5,667	5,719	5,719	434	
査定額	説明			
1,470				
9,683				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 薬剤認定救命士を2名養成した。 新処置認定救命士を2名養成した。 指導的立場の救命士を3名養成した。 公募による普通救命講習を7回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を207回開催し、計5,905名が救命講習を受講した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の養成に必要な経費を計上 医療機器の維持管理に必要な経費を計上 感染防止対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり								
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観								
	目	2	消防団費		施策分野	(7)	消防・救急								
担当課	消防本部	消防総務課	内線	2119					市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の活動が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努める。 市域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ること、市民の安全・安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 報酬等の支給 消防団行事等の企画、運営 消防団員への各種表彰の具申等 消防団施設・資器材等の維持管理 消防団員の入団促進、確保対策の取組み
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↑

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		260,994	226,035	284,657			
特定財源	国費 (消防団の力向上モデル事業委託金)		591				
	県費 ()						
	その他(退職報償金、公務災害補償費)	31,600	20,585	53,900			
一般財源		229,394	204,859	230,757			
新規・拡充	主な事業内容						
	出勤報酬の支給	67,000	52,712	55,000			
	退職報償金	33,240	20,424	59,640			
	消防団員の安全装備	15,680	14,141	17,100			

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		255,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
253,142	253,769	253,769	△ 30,888	
23,811	23,800	23,800	△ 30,100	
229,331	229,969	229,969	△ 788	
査定額	説明			
55,000				
24,920				
19,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全・安心の確保に努めた。 フォトコンテスト優秀作品で団員募集ポスターを作成し、広報活動を展開した。 消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 消防操法大会のあり方を見直し、大会に代わるものとして参加型の消防フェスティバル第2回目を開催した。(来場者約1,200人) 消防団員の高視認性防寒衣370着、耐切削性手袋390双を配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 団員募集ポスターを事業所等に配布・掲示を依頼し、広く加入促進を行った。 消防団員自動車運転免許取得費補助金は、準中型免許取得5名が活用した。 高視認性防寒衣、耐切削性手袋を順次配備、活動中の視認性及び安全性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善に継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 消防フェスティバルにおいて、市民に消防団活動の重要性、地域での役割などを分かりやすく伝え理解の促進とイメージアップを図る。 消防団員被服、装備品の整備を推進する。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が安全に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上
予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の入団促進、団員確保対策に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81300 消防施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり								
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観								
	目	3	消防施設費		施策分野	(7)	消防・救急								
担当課	消防本部	消防総務課	内線	2119				市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
T「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,382,002	27,294	494,000			
特定財源	国費()						
	県費(林業費補助金)			3,000			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、緊急防災減災事業債 等)	150,000	15,000	252,600			
一般財源		1,232,002	12,294	238,400			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団車庫の整備			38,960			
	消防指令システム等の更新整備	1,376,600	21,713	442,200			
	消防署等の改修						

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	121,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
162,369	162,718	162,718	△ 331,282
3,000			△ 3,000
39,200	42,300	72,300	△ 180,300
120,169	120,418	90,418	△ 147,982
査定額	査定額	説明	
46,570			
51,200			
64,948			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・統廃合により用途を廃止した旧団車庫の解体工事を実施した。(清見支団旧坂下班)
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、消防団施設の整理を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 ・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課	・消防団車庫の更新に必要な経費を計上
予算要求	・消防署施設の改修に必要な経費を計上
ポイント	・消防指令システム等の更新に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81310 消防車両整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費	ポイント		(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり									
	項	1	消防費	政策分野		3	都市基盤・防災・景観									
	目	3	消防施設費	施策分野		(7)	消防・救急	市長公約			強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します					
担当課	消防本部	消防総務課・警防課・救急課	内線	2119												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両(署・団)を適正に配置する。 老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		233,200	215,267	246,500			
特定財源	国費 (消防施設等整備事業費 1/2)			20,000			
	県費 ()						
	その他(過疎対策事業債、夢・まちづくり基金繰入金 等)	213,700	170,800	204,000			
一般財源		19,500	44,467	22,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団車両の整備	115,200	100,295	120,000			
	常備消防車両の整備	118,000	114,972	126,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		279,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
181,740	36,100	36,100	△ 210,400	
			△ 20,000	
112,700	23,800	23,800	△ 180,200	
69,040	12,300	12,300	△ 10,200	
査定額	説明			
0				
36,100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ自動車2台を更新し、清見出張所及び荘川出張所に配備した。(うち1台はR5年度債務負担行為分) 警防搬送車(ワンボックス車)3台を更新し、大野分署、清見出張所及び荘川出張所に配備した。 消防団小型動力ポンプ付積載車8台を更新し、丹生川支団細越班、折敷地班、清見支団三ツ谷班、久々野支団柳島班、山梨班、朝日支団日面班、川並班及び上宝支団一重ヶ根班に配備した。(うち4台はR5年度債務負担行為分)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いに応じ調整を図る。 常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。 多種多様な災害で使用可能な消防車両の導入について検討を進める。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両の更新に必要な経費を計上 消防署車両の更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 精算内容を精査 消防車1台と消防団車両4台については、債務負担行為を設定(令和9年度)
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	8	消防費		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり								
	項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観								
	目	3	消防施設費		施策分野	(7)	消防・救急								
担当課	高山消防署 指令課	内線	2117					分野別	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽を整備する。 損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 防火水槽の清掃(土砂除去等による環境改善と水量維持) 初期消火体制の推進
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↑

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		21,898	19,974	44,700			
特定財源	国費(消防防災施設等整備費 1/2)			7,993			
	県費()						
	その他(過疎対策事業債、採水管移転補償雑入)			16,000			
一般財源		21,898	19,974	20,707			
新規・拡充	主な事業内容						
	耐震性貯水槽の整備			24,000			
	消火栓の管理	16,000	15,028	16,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		45,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
47,800	47,800	47,800	3,100	
8,326	8,326	8,326	333	
19,000	19,800	19,800	3,800	
20,474	19,674	19,674	△ 1,033	
査定額	説明			
27,400				
16,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に耐震性貯水槽を整備する中、耐用年数を経過し老朽化した防火水槽を解体した。 防火水槽の躯体保護を1基実施した。 防火水槽の清掃を1基行った。(堆積土砂除去等による環境改善及び水量維持)
評価等	・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な耐震性貯水槽の整備に必要な経費を計上 消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	8	消防費	ポイント		(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり										
	項	1	消防費	政策分野		3	都市基盤・防災・景観										
	目	3	消防施設費	施策分野		(7)	消防・救急	市長公約			強く！～自然と向き合い暮らす強さ～有事に強いまちを確立します						
担当課	消防総務課・警防課・指令課・救急課	内線	2119														

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 初期消火資器材の新規及び更新整備
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		25,500	25,470	23,100			
特定財源	国費()						
	県費(消防団活動活性化促進事業費補助金)		97				
	その他(白川村受託事業収入、緊急防災減災事業債)	670	702	1,880			
一般財源		24,830	24,671	21,220			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団資器材の整備	5,800	5,765	6,650			
	常備消防資器材の整備	12,700	12,866	9,450			
	初期消火体制の推進	7,000	6,848	7,000			

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		22,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
22,070	22,100	22,100	△ 1,000	
568	560	560	△ 1,320	
21,502	21,540	21,540	320	
査定額	説明			
5,530				
9,570				
7,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣16着を更新整備した。 山岳救助装備品(夏・冬)15式を整備した。 救命素射銃1式を更新し、上室分署に配備した。 消防団用に夜間用照明器具(発電機、LED照明器具)及び背負い式水囊を各10式整備した。 消防ホース47本(常備11、団36)を更新整備した。 初期消火資器材格納箱27基及びホース108本を新規整備し、格納箱20基及びホース41本を更新整備した。 機械式心臓マッサージ器1器、自動式吸引器1台を更新整備した。 救命講習用訓練人形3体、AEDトレーナー1台を更新整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 消防団員の安全確保や負担軽減に配慮し、資器材や装備品を計画的に整備するとともに、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防団活動に必要な資器材等の整備に必要な経費を計上 消防防災体制の充実を図るため消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり